

幾何概論 I のレポート課題 (6月9日) の解答例とコメント

課題 1 直積空間 $X \times Y$ において $\overline{A \times B} = \overline{A} \times \overline{B}$ が成り立つことを示せ.

【解答例】 まず $(a, b) \in \overline{A \times B}$ をとる. $a \in U \in \mathcal{O}(X)$ および $b \in V \in \mathcal{O}(Y)$ を満たす U, V をとれば $(a, b) \in U \times V \in \mathcal{O}(X \times Y)$ なので $(U \times V) \cap (A \times B) \neq \emptyset$ である.

$$(U \times V) \cap (A \times B) = (U \cap A) \times (V \cap B) \neq \emptyset$$

より $U \cap A \neq \emptyset$ と $V \cap B \neq \emptyset$ を得る. よって $a \in \overline{A}$ かつ $b \in \overline{B}$ であり $(a, b) \in \overline{A} \times \overline{B}$ である.

逆に $(a, b) \in \overline{A} \times \overline{B}$ とする. $(a, b) \in W \in \mathcal{O}(X \times Y)$ について $(a, b) \in U \times V \subset W$ となる $U \in \mathcal{O}(X)$ と $V \in \mathcal{O}(Y)$ がとれる. $a \in \overline{A}$ より $A \cap U \neq \emptyset$ である. 同様に $b \in \overline{B}$ より $B \cap V \neq \emptyset$ である. よって $W \cap (A \times B) \supset (U \times V) \cap (A \times B) = (U \cap A) \times (V \cap B) \neq \emptyset$ であり $(a, b) \in \overline{A \times B}$ である.

【コメント】

- 前半の証明で最初に $(a, b) \in W \in \mathcal{O}(X \times Y)$ なる W をとってしまうと $U \times V \subset W$ となる U, V は任意にとったものではなくなる. $a \in \overline{A}$ の証明には使えない.
- $(x, y) \in (U \times V) \cap (A \times B)$ は $x \in U$ かつ $y \in V$ かつ $x \in A$ かつ $y \in B$ である. 4つの命題を「かつ」で結んでいるので順序はなんでもかまわない. 証明で使った事実はこのことから理解できる.

課題 2 位相空間 $(X, \mathcal{O}(X))$ について $f: X \rightarrow X \times X$ を $f(x) = (x, x)$ で定める. このとき $W \in \mathcal{O}(X \times X)$ について $f^{-1}(W) \in \mathcal{O}(X)$ となることを示せ.

【解答例】 $f^{-1}(W) = \emptyset$ のときは定義より開集合である. $f^{-1}(W) \neq \emptyset$ とし $x \in f^{-1}(W)$ をとる. $f(x) = (x, x) \in W \in \mathcal{O}(X \times X)$ である. ゆえに $U, V \in \mathcal{O}(X)$ で $(x, x) \in U \times V \subset W$ を満たすものが存在する.

$y \in U \cap V$ について $f(y) = (y, y) \in (U \cap V) \times (U \cap V) \subset U \times V \subset W$ より $y \in f^{-1}(W)$ である. よって $x \in U \cap V \subset f^{-1}(W)$ であり $U \cap V \in \mathcal{O}(X)$ と合わせて $f^{-1}(W) \in \mathcal{O}(X)$ を得る.

【コメント】

- $(x, x) \in U \times U \subset W$ とした答案が目立ったが, なぜ同じ U に取れるのかは注意が必要だ. 間違いとまでは言い切れないが.

課題 3 $\left(\bigcup_{\alpha \in A} U_\alpha \right) \cap \left(\bigcup_{\beta \in B} V_\beta \right) = \bigcup_{\alpha, \beta} (U_\alpha \cap V_\beta)$ を示せ.

【解答例】 $x \in \left(\bigcup_{\alpha \in A} U_\alpha \right) \cap \left(\bigcup_{\beta \in B} V_\beta \right)$ をとる. $x \in \bigcup_{\alpha \in A} U_\alpha$ かつ $x \in \bigcup_{\beta \in B} V_\beta$ である. 合併の定義から $x \in U_{\alpha_0}$ を満たす $\alpha_0 \in A$ をとる. 同様に $x \in V_{\beta_0}$ を満たす $\beta_0 \in B$ をとる. $x \in U_{\alpha_0} \cap V_{\beta_0} \subset \bigcup_{\alpha, \beta} (U_\alpha \cap V_\beta)$ よりこの包含関係を得る.

逆に $x \in \bigcup_{\alpha, \beta} (U_\alpha \cap V_\beta)$ をとる. 合併の定義から $x \in U_{\alpha_0} \cap V_{\beta_0}$ を満たす α_0, β_0 を取ることができる. $x \in U_{\alpha_0} \subset \bigcup_{\alpha \in A} U_\alpha$ および $x \in V_{\beta_0} \subset \bigcup_{\beta \in B} V_\beta$ より $x \in U_{\alpha_0} \cap V_{\beta_0} \subset \left(\bigcup_{\alpha \in A} U_\alpha \right) \cap \left(\bigcup_{\beta \in B} V_\beta \right)$ でありこの包含関係を得る.

【コメント】

- 定義を組み合わせるだけで, 易しい証明であることを理解してほしい.